

「書字における漢字想起のメカニズムに関する研究」

(鳥取大学 地域学部人文社会科学研究所の倫理審査委員会 04-06)

書字における漢字想起のメカニズムに関する研究についての説明

1. 研究協力者の権利

実験開始前に、研究の主旨、方法等について、口頭による説明と本説明書により、よくご理解いただいたうえで参加するかどうかを判断してください。研究協力者となることは自由意思によるものであり、同意をされない場合において不利益が与えられることはありません。また、同意書に署名した後でも、実験が継続できなくなった場合やその意思が無くなった場合には、いつでも中断することができます、そのことにより何ら不利益が与えられることはありません。

2. 本研究の研究目的・意義

私たちは書字において漢字想起を行う際に、様々な認知プロセスを経ています。これまでの先行研究では、対応する漢字があるか、漢字で表記することがふさわしいか、漢字を書くことができるかというような漢字書字の心的過程が考えられています。しかし、書字における漢字想起に関してはまだわかっていないことが多くあります。また、先行研究において、ある条件が漢字想起に効果的であることが考察されていますが、それらの先行研究には問題点もいくつかあります。

そこで本研究では、漢字想起のメカニズムについて先行研究の問題点に迫り、書字における漢字想起のメカニズムについて明らかにすることを目的とします。本実験はその基礎データを得ることを目的として実施します。

3. 検査方法

PCの画面に漢字の問題を出すので、解答用紙に記入してください。実験前に実験者が条件を口頭で説明しますので、それに従ってください。課題の途中で休憩時間を取りますので、必要に応じて休憩を取ることができます。所要時間は、検査自体は40分位で、全体として説明や練習時間を含めて60分程度です。

4. 研究協力への同意と撤回について

研究協力者様にこの研究の主旨を理解し協力を同意していただいた場合に限り検査を行います。検査についてご協力いただけるようでしたら、同意文書に署名をお願いいたします。これは、強制ではなく研究協力者様自身の意思が尊重されます。

研究に協力されない場合でも、研究協力者様が不利益を受けることはありません。また、同意文書に署名後に、この検査への協力の意思がなくなりましたら、その場合にはいつでも同意を撤回することができます。この場合、得られた検査データは、速やかに破棄いたします。ただし、すでに個人が特定できない形で解析している等、一部データについては破棄ができない場合もございます。また、学会等で発表済みのデータについては発表の撤回は行いません。

5. 協力者の方の利益、不利益

研究協力者には実験参加の謝礼として図書カード（1000円分）をお渡しします。本研究は基礎研究

であり、協力者の方個人にその他の直接の利益はありません。また、使用する研究手法は PC を用いた簡単な心理実験であり、協力者の方個人に予想される不利益はございません。

6. 個人情報保護について

協力者の方の個人情報は、検査データと別に外部に漏れないように研究成果発表後 10 年間が経過するまで厳重に保管します。検査データを取り扱う際には被験者番号で管理した上、研究責任者の下で鳥取大学地域学部にて保管されます。また、研究終了後も個人の特定ができない形で保管され、さらなる研究の発展のために活用されます。研究実施者である地域学部学生が卒業後も本データを扱うことがあります。その場合も、研究責任者の管理する部屋にて行います。研究成果は、学会や学術雑誌、メディア等を通し発表や公表しますが、その際は個人を特定されることはありません。保管期間終了後、紙媒体のデータ・同意書等はシュレッダーで裁断するなどして廃棄します。電子データについては消去ソフトを用いて媒体より完全な消去を行い破棄します。

7. 知的財産権などについて

この研究の成果によって知的財産権が生じた場合、研究協力者の方個人がその権利を有することはありません。

8. 研究の実施者および責任者

実施者：住田 晴音（鳥取大学地域学部 4 年）

責任者：谷中 久和（鳥取大学地域学部 准教授）

9. お問い合わせ先

この研究についてのお問い合わせや苦情は、下記担当者までご連絡下さい。

鳥取大学地域学部 准教授 氏名 谷中久和

連絡先

所在地：〒680-8551 鳥取県鳥取市湖山町南 4 丁目 101 鳥取大学地域学部谷中研究室

電話番号：0857-31-5074（研究室）

e-mail：yanaka@tottori-u.ac.jp